教

頭

佐

藤

崇

蓰

で百マ 導入しました。 働くとは言い 生きて働く基礎学力であるかどうかは別として、学習で身に付けた事柄を 店には、 百 び これから未来を生き抜いていく子どもたちに、 基本とは 新学習 かり 定着させるために反復練習は当然必要です。 **:算に代表されるスキル的** その大きなうねりの中で、 百マス計算に関わるテキストが山積みされ、 指 何 算が行われています。 導要 なの を発表。 しかし、 何は かを明らかにすることが大切であると考えます。 受験のための学力に代表されるはがれ落ちる学力は、 学習内容を 「ゆとり」から学力向上への揺り 学力低下を懸念する声が広がり、 削 な学習活動が注 百マス計算を行うことで得られるも 減 基礎・基本の定着の必要性が 生きる力」 意味のあるものとは思えま 目されてきていま その生きて働く基礎 多くの学校で, を育てる総合学 戻しともいわ 文部科学省 叫 生きて す。 ば は 家庭 ·習を れて れ  $\mathcal{O}$ 学 書

然のごとくリコ ただけでリコー が こつこつと努力を積み重ねるのが苦手な性分で、 あ る日 め ーダ ダー んどくさい運指やうまくいかないタンギング、 は、 ーは全く吹け の練習から遠ざかってしまっていました。 ても苦痛でした。 ませんでしたので、 音 [楽の リコー 時 間、 ですから当 それを考え ダーが大 特にリ

この

基礎•

基

本に関わる私自身の経験を紹介したいと思

います。

響きま る日 0) ず。 私と 先生だけ。 窓 の外では、 担 任 の先生に残されました。 シー 友達が歓声を上げ ンとした教室に私の IJ ながら遊んでい コ 情け Ì ダ いないリ ]  $\mathcal{O}$ 練 ます。 習で コーダーの L この た。

> タンギ を書か えてい うになったのです。 てくださいました。 ときだけ が一 ・ングの なけ ます。 週間 は、 れ ほど続い 先生も、 先生を 仕方や運指、 ば・・・) このときの感動 この練習は、一日だけではありませんでした。 たある日。 恨み 自分のことのように喜んでくださいまし と ましたし、 息を吹き込むスピードなど、 作曲 憎々しく思ってい 者まで憎々しく思って 事は、 挙げ 三十数年もたった今でも 句 0 果 ては、 た作曲家の曲  $\widehat{\mathcal{L}}$ 熱心に優しく教え いました。 0) 人がこ が吹けるよ が明に こんな 先生は W な曲

日

を知り得たの 始めたホ  $\mathcal{O}$ 以 さをリコー それ以 来, 私にとって音楽はかけがえのないものです。このすばらし 私 ルン。 は、 来、 ダーを通して感じ取ることができるようになったのです。 も三十数年 自ら進んで音楽にかかわるようになりました。 リコーダーを吹くことの楽しさはもちろん、 ホルンを通して知ったすばらしいオー ・前の先生との出会い が あったからなのです。 ケストラの 音楽のす 高校時代から い音楽の 世界。 がばら それ 世 今

真実が 深いも 質に ます。 礎 必要です。 基本を身に付けさせる学習も、 新たな世界を切り 基本を身に付けるためには、 触 あ 0 れ ス る喜びを味 る で あっ その過程で苦労も耐えることも時には必要でしょう。 ツ は プウオッ ずです。 ってほ 拓い わ ノチで計 それ わせてあげた てい もの を です。 った時間 組 くためには、 温織して 学んでいる教科 練習を重ねたり、 基礎 ものです。 が縮んだという喜びよりも教科 1 基礎 、のが教 基本にも 0 師 基本が大切です。 本質に触れる、 豊 反復したりすることが  $\mathcal{O}$ 大きな かな学習法と学び 仕 事だと思 その  $\mathcal{O}$ 本 基